



魂亡法 KU 川 NYO 寺 2026 10.10 ~18 秋田市 文化 創造館

2026^年
10.10^土
~18^日
主催：大仙市

剥がれも、
傷も、
時すらも。

仏教美術の傑作 法隆寺金堂壁画を

一筋の線で
描き切った男。

仏画家
鈴木空如に
迫る。

昭和24年に焼損した法隆寺金堂壁画。大仙市出身の仏画家、日本画家の鈴木空如(1873~1946)は、風化による剥落や歴史が刻んだシミすらも異常なまでの執念で描き写した。100年の時を超え、私たちが目撃するのは「伝統」ではなく、古典の美に迫ろうとした「狂気」と「熱量」そのものだ。

法隆寺の魂、金堂壁画模写〈一作目〉と

ゆかりの品を一挙公開

空如が生涯をかけて描き写した世界最古の木造建築・法隆寺の金堂壁画は、奈良時代初めに描かれ、昭和24年の火災で大半が焼損した。焼けただれた壁画は境内の収蔵庫に保管されているほか、近年は最先端のデジタル技術により、焼損前の色彩を高精細で蘇らせるプロジェクトが進行している。

この圧倒的な美を誇る法隆寺金堂壁画のすべてを、空如はなぜ、三度もひたすら描き写したのか。画壇に属さず、あくまでも仏画師として、法隆寺金堂壁画の模写と仏教美術の研究に生涯を捧げた空如とは、何者なのか。本展では〈一作目〉の法隆寺金堂壁画模写12面を一挙に展示するほか、抜き写しや写生帳、ゆかりの品などを公開する。



法隆寺金堂（大仙市撮影）



第3号壁 観音菩薩像



鈴木空如、自室にて

会場

秋田市文化創造館 2FスタジオA

秋田県秋田市千秋明徳町3-16

日時・
観覧料

2026年10月10日(土) - 10月18日(日)
10:00 - 18:30

休館日: 10月13日(火)

一般 1,500円、学生以下無料

問い合わせ

大仙市観光文化スポーツ部文化財課

TEL.0187-63-8972

FAX.0187-63-8973

NPO 法人アーツセンターあきた

TEL.018-888-8137

FAX.018-888-8147

E-mail info@artscenter-akita.jp

Web <https://www.artscenter-akita.jp>

主催 大仙市

監修 石川 昌(秋田公立美術大学)

デザイン 渡辺 恵(mi e ru)

インストール 櫻井隆平(秋田公立美術大学)

映像 伊藤達也(pin.Connect)

企画制作 NPO 法人アーツセンターあきた

後援 公立大学法人秋田公立美術大学



アクセス

JR「秋田駅」西口から徒歩約10分
秋田中央交通「千秋公園」下車、徒歩約5分
中心市街地循環バスぐるる「ミルハス前」下車すぐ
お車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください